

草津市指定管理者選定評価委員会議事概要

開催年月日	平成30年10月17日(水)	開催時間	午後1時30分から 午後6時30分まで
出席者	委員8名、施設担当職員3～6名、事務局4名 各申請団体		
傍聴者	1人		
付議事項	指定管理者の候補者の選定に係る意見を求めること等について 1 水生植物公園みずの森 2 草津市立社会体育施設等 3 北山田漁港 4 志那漁港		
<p>1 開会</p> <p>2 「水生植物公園みずの森」の指定管理者の候補者の選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課より施設概要等説明 ・申請者から申請書について説明(1者) ・質疑応答 ・審査・採決(非公開) <p>3 「草津市立社会体育施設等」の指定管理者の候補者の選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課より施設概要等説明 ・申請者プレゼンテーション① ・質疑応答 ・申請者プレゼンテーション② ・質疑応答 ・審査・採決(非公開) <p>4 「北山田漁港」の指定管理者の候補者の選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課より施設概要等説明 ・申請者から申請書について説明(1者) ・質疑応答 ・審査・採決(非公開) <p>5 「志那漁港」の指定管理者の候補者の選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課より施設概要等説明 ・申請者から申請書について説明(1者) ・質疑応答 ・審査・採決(非公開) <p>6 事務連絡</p> <p>7 閉会</p>			

- ◆平成30年度末で指定期間満了を迎える施設において、申請のあった団体（以下「申請者」という。）が指定管理者として適任かどうか審議を行った。

①「水生植物公園みずの森」

1 担当課説明

(1) 施設の概要等

水生植物公園みずの森は、都市公園法に基づく草津市都市公園条例にて設置しており、「都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的」としている。敷地の面積は3万7,400㎡、観賞温室や映像ホール、レストラン等々を備えたロータス館本館があり、園内はハスやスイレン等の水生植物をはじめ、四季を通じてさまざまな植物が植えられている。

(2) 募集概要等

募集方法は公募によるもので、指定期間は、平成31年4月1日から平成36年3月31日までの5年間。

8月20日から9月28日の期間、募集要項の配布を行ったところ、応募者は近江鉄道ゆうグループ1者のみ。

(3) 採決方法

候補者として選定するかどうかが出席委員の多数決により採決

2 申請者説明

平成25年度より管理運営方針として「地域とともに歩み、ともにつくる花も人も華やぐ水辺の空間光ミュージアム」の実現を掲げ、当施設の管理運営を行ってきた。これは、水生植物が好きな人なら必ず訪れる場所、初めての人でも植物の世界やその楽しさを体験できる場所、楽しくにぎわいのあるイベントがあふれる場所、そして利用者や市民が主人公となって活躍できる場所として、全国そして世界に誇れる公園を地域の方とともにつくることを意味している。この運営方針を引き続き掲げ、これまで築いてきた実績のもと当施設の魅力と価値のさらなる向上に努める。

方針に沿った具体的な目標について、1つ目は、国内外のさまざまな水生植物や、ほかの施設では目にすることない珍しい植物など、みずの森ならではの植物を適切に管理していくために貴重植物管理リーダー1名の追加および各種研修によるスタッフの技術向上を図るなど、組織体制の強化を図る。

2つ目は年間入園者数について、次期指定管理期間の最終年度の平成35年に、ハス群生地が消滅して1年目の平成28年度の入園者数を超える8万9,000人を目指す。この実現に向けて、中学生以下を無料、高齢者割引の割引幅の拡大するなどの料金改定の提案や、新たな集客イベントの開発・運営を行う。さらには、地元ホテルとの連携によるガーデンウェディングや、若い世代をターゲットにした恋人の聖地としてのPR活動など、公園の新たな利用方法を提案し、集客を行う。

3つ目は利用者、地域に長く愛されるみずの森を目指す。

公園の中にハスの見どころをつくり出すために、平成29年度よりスタートさせたハス100鉢プロジェクトは、2年目の平成30年度には、200鉢と参画の輪が広がったことから、今後もみずの森ならではの地域連携事業として継続して実施していく。

また、みずの森友の会に加盟する各種同好会との連携により、年間20回近くの植物企画展や種苗頒布会、そのほか園内の手入れに御協力いただいているボランティアの皆さんなどさまざまな団体や組織と連携しながら、利用者、地域に長く愛される公園づくりを目指す。あわせて、市民の方々に長く安全に御利用いただくために、日ごろより施設設備の適切な点検、整備を行い、施設の長寿命化に努め、台風や地震などの自然災害や緊急事態にも迅速に対応したい。

3 委員の主な意見および質疑応答 等

＜委員（以下「委」という。）＞：琵琶湖博物館との連携はあるのか。

＜公園緑地課（以下「公園」という。）＞：両館で使える共通入場券を販売するという形での連携はしている。

＜委＞：ハスの消滅もあるが、利用者数の市の見通しはどうか。

＜公園＞：平成29年度末の入園者数は7万8,000人ほどでありハスの現状も考え、この7万8,000人が最下限と考えている。

＜委＞：平成30年度の現時点での入園者数の前年度比はどうか。

＜公園＞：台風の影響もあり、9月末時点で前年度の8割程度である。

＜委＞：過去の実績について、平成25年度と29年度を比べると、入園者数の減少よりも入園料収入の減少幅のほうが大きいがどうしてか。

＜公園＞：無料の入園者数が増えていることが影響している。市民無料の日を目がけてお越しいただいてる方の割合が増えていると考えられる。

＜委＞：提案書には平成35年に入園者数8万9,000人を目標にしているが、どういった考えから設定したのか。

＜近江鉄道ゆうグループ（以下「近江」という。）＞：仕様書に、8万5,000人を上回る人数設定を設けてくださいとあったことから、これを超える人数を設定した。

＜委＞：提案書にあるアトラクションについて、どういった内容を予定しているか。

＜近江＞：提案書には、ジャグリングの写真を載せているが、そういった大道芸を呼んで、賑やかにしたいと考えている。そのほか、コンサートや着ぐるみショー、当グループの特性を活かした、バスや鉄道に関するアトラクション等で楽しんでいただければと考えている。

アトラクションを実施する目的としては2つあり、1つは日頃から入園いただいている方にいつもと違った楽しみを体験いただくということ、2つ目は植物には興味がない方にも入園いただくことである。

＜委＞：当施設を観光バスのコースに入れているか、なければ検討できるか。

＜近江＞：今後の展開としては行いたいと思っているが、バスツアーの業者から、ハスに代わる名物は何かと問われているところである。

＜委＞：植物の専門スタッフを増やし、かつ減免幅を拡大する提案内容については、入園者数が増えなければ収入減となるが。

＜近江＞：減免の幅の拡大について、中学生以下を無料にすることについては、子どもが来やすい状況をつくることで、保護者や引率の方が増えるという考えをもっている。高齢者の割引料金の拡大については、シニア世代に施設を知っていただくうえで効果的な仕掛けであると考えている。

<委>：1日何人くらい入園されているか。

<近江>：現状では、400人弱。大型イベントの実施時は1,000人から2,000人になるが、冬場の平日だと100人を切ることもある。

<委>：子どもについては、すごく植物が好きな子もいるだろうが、多くは生き物との関係の中で植物に関心をもつのではと思うが。

<近江>：博物館と動物園と植物園の3つのカテゴリーの中で、植物園が一番子どもに人気がないというのは、植物園協会の会合でもいつも出る話である。水生植物公園であるので、魚類など、生き物との関係についても考えていきたい。

<委>：観光地となると魅力の1つに食があるが、ハスソフトクリームのはどこで取れたものを使っているのか。

<近江>：業者さんから購入しており、みずの森のものではない。食の取り組みで言えば、今年の春からオニバスランチというのを初めており、ハスの葉を模したお皿を使った料理を出している。

<委>：県内でも唯一の施設であることから、県内の小学生や中学生に入園してもらう動きは必要だと思うが。

<近江>：学校教育に関するアプローチとしては、ポイントが2つあって、1つ目はどのような体験をしていただけるかということ。その点、子どもたちが学べるような学習プログラムはある。

2つ目はキャパシティの問題である。1クラスぐらいであればよいが、3クラス、4クラスになったときに、大人数がどう過ごすか、お弁当をどこで食べるか、雨が降った際はどこで待機するかと考えると、学校の担当者は行き先について琵琶湖博物館を選択されるのが現状である。その点でハード面での整備も必要になってくると思う。

<委>：車いすは何台設置しているか。

<近江>：4台ある。

<委>：団体客で車いす利用者が10人来る場合はどう対応するのか。

<近江>：基本的に車いすが必要な団体については持ち込みで来られるケースが多い。事前に問い合わせがあった際には、施設にあるのは4台と伝え、御了承をいただいているところである。

4 採決

審議後、出席委員全員の賛成が得られ、指定管理者として「近江鉄道ゆうグループ」を候補者とすることが適当であるとの結論に至った。

②「草津市立社会体育施設等」

1 担当課説明

(1) 施設の概要等

総合体育館については、アリーナ面積が2,177㎡、観客席は稼働席を合わせて1,218席あり、バレーボール、バスケットボール、卓球等の室内競技大会が数多く開催されている。また、別途、柔道場、トレーニング室も備えている。

武道館については、武道専用施設として設置しており、733㎡の武道場の他、トレーニング室、相撲場を有している。

野村運動公園については、26,574㎡の多目的グラウンドを備えている。

ふれあい体育館については、570㎡のアリーナとなっている。

ふれあい運動場については、敷地面積8,000㎡となっており、野球やサッカー、ソフトボールとして利用いただいている。

三ツ池運動公園については、8,000㎡の多目的グラウンドと1,000㎡の憩いの広場ともに、天然芝となっている。周辺の住宅地に隣接していることから、ナイター設備は無く、午前、午後のみ開設時間となっている。

弾正公園については、敷地面積が59,000㎡、公園内には草津グリーンスタジアム、テニスコート等の公園施設を有する公園。草津グリーンスタジアムについては、敷地面積が16,200㎡の野球場。テニスコートについては、6面のテニスコートを備えており、夜間利用も可能な照明を備えている。

野村公園については、平成31年の4月から供用開始予定の都市公園で、敷地面積19,000㎡、公園内には現在建設中の（仮称）くさつシティアリーナを有する公園施設とする予定。（仮称）くさつシティアリーナについては、平成31年の6月下旬から供用開始予定で、建築面積7,600㎡、メインアリーナは2,000㎡、観客席が3,500席の県内でも有数のアリーナとなっており、バレーボールやバスケットボール、卓球等の室内競技で利用いただき、また、草津駅から徒歩圏内という立地を活かし、プロスポーツの興業や商業イベントの開催など、集客性の高い施設として、まちなかの新たなにぎわいを生む施設として、活用していきたいと考えている。

(2) 募集概要等

募集方法は公募によるもので、指定期間は、平成31年4月1日から平成34年3月31日までの3年間

(3) 募集結果

申請者 2団体

(4) 審査内容

申請者の組織の安定性、管理運営業務への適性、施設運営の方向性、管理運営体制・職員配置、施設等の維持管理等、危機管理体制、個人情報保護、大規模集客事業、申請者からの提案、地域への貢献度、経営計画・管理運営という選定基準により総合的に判断

(5) 採決方法

各委員の採点結果を参考に、候補者を選定する。

2 各申請者によるプレゼンテーションおよび質疑応答

◆合同会社草津市スポーツ振興事業体（以下「振興」という。）によるプレゼンテーション：略

（以下 質疑応答）

<委員（以下「委」という。）>：管理体制の図を見ると、草津市コミュニティ事業団とコナミスポーツクラブと指示体制が二重になっているようだが。

<振興>：日常的な管理業務は、草津市コミュニティ事業団の指示のもと、館長と連携していくという体制になる。コナミスポーツクラブは、全国のスポーツ施設の運営実績を活かした情報連携を行うといった立ち位置であり、二重にはならない。

- <委>：収支計画について、平成29年度の収入実績が3,693万であるのに、平成31年度の収入見込みを3,050万としているのはなぜか。
- <振興>：次期指定管理期間については、新体育館が利用料金制ではなく使用料制となるため、現体育館の収入分を減額している。
- <委>：指定管理業務を行う中で、難しさや改善点はあるか。
- <振興>：難しさは特にはない。
- <委>：草津市には常設のグランドゴルフ場がないと不満が出ているようだが。
- <スポーツ保健課>：グランドゴルフ場については、確かに要望を色々いただいております、市としても検討はしているものの、常設のグランドゴルフ場は設置していない。現状は、弾正公園や三ッ池運動公園、野村運動公園グラウンドなどの多目的の広場を活用いただいている。今後、草津川跡地整備の中でグランドゴルフ場の常設も含めて検討したいということで御要望については、回答させていただいている。
- <委>：アンケートはどの程度とっているか。
- <振興>：毎年2月頃に、各施設で行っている。いただいた御要望については、指定管理者で対応できるものについては即、対応させていただいております、市と相談しなければ実施できないようなことについては、毎月の市との定例会議において報告している。具体的な対応として、総合体育館のロビーが寒いとの御意見があった際は、大型のストーブを設置し、夏場の体育館のロビーが高温になるという御意見をいただいたときは、大型の扇風機を購入し対応した実績がある。
- <委>：子どもや子育て中の保護者をターゲットにしたようなもので特にアピールするような事業はあるか。
- <振興>：小学生や就学前の幼児を対象に、親子スポーツ教室等を行っている。今後もコナミスポーツのノウハウを活かし、力を入れていきたいと考えている。
- ◆申請者A（以下「A」という。）によるプレゼンテーション：略
（以下 質疑応答）
- <委員>：草津市の特徴を生かした取り組みの計画はあるか。
- <A>：市外からも集客することによって、草津市のにぎわい創出を求めているという話も聞いた。全国で実績があるイベントとしてお笑い芸人が参加者と一緒に体を動かし、スポーツに親しんでいただくといったものがあるので、実施しようと計画している。
- <委>：収入について平成29年度の実績から毎年、200万から300万増収という見積もりをされているが、集客増の手立てがあるということか。
- <A>：指定管理施設の管理実績を活かし、増やしていこうと考えている。
- <委>：先ほどのプレゼンテーションでは、草津市の体育館で音楽ショーを実施するのはイベント会社から難しいと言われたとの説明があったが、設備面で難しいということか。
- <A>：集客面と聞いている。建設予定の（仮称）くさつシティアリーナであれば3,000人程度を集める必要があるが、トップアーティストを呼んでこない集客が難しいということであった。イナズマロックフェスに絡めて行ったらどうかという提案もあったので、弊社で呼べるようなアーティストで、皆さんに喜んでいただけるよう

なことは検討したいと考えている。

3 採決

各委員によるそれぞれの申請者の採点后、最も高い得点を得た、「合同会社草津市スポーツ振興事業体」を候補者とすることが適当であるとの結論に至った。

③「北山田漁港」

1 担当課説明

(1) 施設の概要等

指定管理の範囲は消波堤から網干場までのうち、泊地等の水域が約19,000㎡、係留施設や漁港施設用地等の陸域が約20,000㎡。

(2) 募集概要等

募集方法は、非公募により「山田漁業協同組合」を候補者として選定、指定期間は、平成31年4月1日から平成36年3月31日までの5年間

非公募理由は、漁業活動を行うために整備された施設であり、一般市民に供することが少なく、漁業者が使用する施設であることから漁業活動の拠点として利用している唯一の団体である山田漁業協同組合が管理することが望ましいとの考えから。

成果の検証・・・適切に届出受付事務がなされ、週1回の清掃業務、漁港施設の損傷・危険箇所等を発見した際の市への通報、管理要項に基づく管理基準も適正に満たしている。また、漁港施設での水産祭りや地元の盆踊り等、地域の人々との交流を通じて消費者のニーズを知るためのよい場としていくとともに、漁港施設の友好的な活用により地域に根ざした漁港の運営に努められている。

(3) 採決方法

候補者として選定するかどうかが出席委員の多数決により採決

2 申請者説明

山田漁業協働組合は昭和24年11月9日に設立。組合の理念として、地域に根ざした水産業、地域と歩む山田漁業を掲げており、それを実現するため、地域とのふれあいをもった水産業、消費者のニーズに合った水産業、環境に配慮した水産業を3つの柱としている。

事業運営については、現場責任者及び従事者を1名ずつ配置し、施設内等の巡回を行い、非難誘導や緊急連絡網等も体制の確認、徹底を図っていくとともに、消費者ニーズを的確に捉え、新鮮でおいしい琵琶湖のめぐみを提供していくことで、地域の人々と絆を深め、活気ある漁港施設とする。

また、水産業を営む上で、昨今問題となっている琵琶湖環境の悪化については、率先して問題解決に対する取り組みを展開していきたいと考えている。

3 委員の主な意見および質疑応答 等

<委員（以下「委」という。）>：職員体制にある従事者1名とはどういった役割の職員か。

<山田漁業協働組合（以下「山田」という。）>：漁港に関する事務の処理、施設内の

巡回等を行う事務職員である。

<委>：昔は真珠も多くとれたのか。

<山田>：昔はとれたが、今はとれない。昔と比べ水質も変わってきており、昔のような琵琶湖に戻るのは大変だと思う。

<委>：北湖にも漁に行かれるのか。

<山田>：少し手を延ばす程度。主として活動している南湖は、水深が一番深いところで、5メートルから6メートルくらいであるが、北湖は深いところで120メートルくらいある。本格的に漁を行おうと思うと、規模が大きくなるため漁具が増え、それに伴い大きな船が必要となり、経費として、エンジンと網一式用意するのに5,000万円から6,000万円の投資が必要となる。

<委>：南湖で主にとれる魚は何か。

<山田>：もろこやフナである。

<委>：もろこは滋賀県では非常に人気があるので、とるだけじゃなく、養殖できれば良いと思うのだが。

<山田>：琵琶湖で養殖するとなると、餌代がものすごくかかる。プランクトンを増やして餌とする方法もあるが、琵琶湖の水質の問題から難しい。

4 採決

審議後、出席委員全員の賛成が得られ、指定管理者として「山田漁業協働組合」を候補者とするのが適当であるとの結論に至った。

※採決は「志那漁港」と併せて実施。

④「志那漁港」

1 担当課説明

(1) 施設の概要等

指定管理の範囲は消波堤から漁港施設用地までのうち、泊地等の水域が約4,500㎡、係留施設や漁港施設用地等の陸域が約7,500㎡

(2) 募集概要等

募集方法は、非公募により「志那漁業協働組合」を候補者として選定、指定期間は、平成31年4月1日から平成36年3月31日までの5年間

非公募理由は、漁業活動を行うために整備された施設であり、一般市民に供することが少なく、漁業者が使用する施設であることから漁業活動の拠点として利用している唯一の団体である志那漁業協働組合が管理することが望ましいとの考えから。

成果の検証・・・適切に届出受付事務がなされ、週1回の清掃業務、管理要項に基づく管理基準も適正に満たすとともに、漁場環境の保全を通して琵琶湖の豊かな生態系を守り次代に引き継ぐよう努められており、美しい琵琶湖を守り、自然と共存した志那漁港を目指して運営している。

(3) 採決方法

候補者として選定するかどうかが出席委員の多数決により採決

2 申請者説明

志那漁業協働組合は昭和24年11月24日に設立。組合の理念として、魅力ある水産、

母なる琵琶湖、共存を掲げており、それを実現するため若者が希望と誇りをもって取り組める水産業の確立、美しい琵琶湖を守り次世代に残す水産業、ゆとりと心の豊かさを体験できる水産を3つの柱としている。

事業運営については、職員1名を配置し、施設内等の巡回を行い、非難誘導や緊急連絡網等も体制の確認、徹底を図っていくとともに、経営管理については、計画的な漁獲量を設けており、漁獲施設を有効に利用して、利用促進を図っていく。

3 委員の主な意見および質疑応答 等

<委員（以下「委」という。）>：施設の老朽化について、懸念はないか。

<志那漁業協働組合（以下「志那」という。）>：港の設備等は、老朽化しているが、特に日常の操業に支障があるというようなどころまでは至っていない。

<委>：実際に漁業に出ている組合員は何名くらいか。

<志那>：5名～6名である。

<委>：船の燃料費は組合員の個人負担か。

<志那>：組合所有の船については組合負担だが、個人所有の船は個人負担である。

<委>：組合として漁業活動することはないのか。

<志那>：基本的に個人の集合体であるという考え方だが、今年から組合員なら誰でも利用できる船を購入するなどの活動を進めている。

4 採決

審議後、出席委員全員の賛成が得られ、指定管理者として「志那漁業協働組合」を候補者とするのが適当であるとの結論に至った。

※採決は「北山田漁港」と併せて実施。